

2023.4.13

No.1

2023年度 入社式について

今年の入社式は4/3(月)に行われました。

例年通り、最初に予定されているのは社長挨拶なのですが、今までと大きく話す内容を変えないようにしつつも、入社式というのは新入社員も緊張しているのでシンプルな内容にしたいと記憶に残らないだろうと思い、「嬉しく楽しく働く」ための秘訣に絞って話をしました。

…が、与えられた20分の枠を大きく超えて、気付いたら40分近くも話してしまい、記憶に残る話が出来たか、わかりません。

進行にもかなり迷惑をかけてしまいました。

少しだけ、どんな話をしたか紹介したいと思います。

人は皆、歳を取るので、誰でもいつか死ぬ時が来ます。それを逃れた人は居ません。今から100年の時間があるとして、自分はいつ死ぬか？今は若い皆だが、あらためて後どれほど生きる時間があるのか？

また、自分を育てくれた親は、あとどれくらい生きられるのか？もと短くははずです。親孝行できるよう、社会人として一人前にならねと、

感謝を示すチャンスは、あとどれほど残されているだろうか…？

考えてみると、案外多くない事に気付くのではないのでしょうか？

そうすると、今日、一日、一分一秒が尊くもたえ、無駄にはしたくないと感じるものです。もし、何も考えずにボーっとして日常を過ごすならば、

まるで、せいかく一週間のハワイ旅行に来たのに、何日も昼頃まで寝ていて、何日も宿の部屋でダラダラと過ごすようなものです。

きっと皆さんならば、1日目はどこに行き、何を楽しみ、何を食べようかと計画を立てて、一週間を出来る限り満喫しようとするのではないのでしょうか？

さて、就職して社員として働き始めると起きている時間の大半は仕事で占められるようになります。そこであれば、仕事をしている最中の心の状態が良いか悪いか？

という点はとても重要ではないのでしょうか？

お金を貰う為に言われた事を、渋々嫌々行なうのは、苦痛を感じる時間が長くなり会社の奴隷と変わらない状況になります。

全く同じ事をしながらも、嬉しく楽しく働けるならば、とても理想的ではないのでしょうか？ 何の為、誰の為、何故行なうか？と考え、工夫して成長しながら働く、働き甲斐が生まれます。

2023.4.13

No.2

また、お客様と接する時に真心込めたサービスを感じ取ってもらえるて喜んでいただけると、自分も嬉しくなります。仕事をし、生活の糧を得ながら喜ぶまでもが得られるのです。

弊社の企業理念には、「嬉しく楽しく仕事をしたい」という言葉があります。簡単なようで、かなり難しい事です。楽をしていると、その場は良いですが、長い目で見ると、辛い状況が多くなりますし、利益を追求する働き方をしているやはり、最初だけ良くて辛状況が待っています。

そうならぬよう、新社会人の皆さんには、嬉しく楽しく働くコツを3つの分野で伝えました。

①しっかり基礎を積みあげる。②きりと売る(正しい考え方で働く)

③働く環境も大切(人間関係を自分から積極的に平和に保つ)

生き生きと働くためには、意識できる事たくさんあるかと思いますが、今回は、この三つを強調しました。中身をこの社長通信で書くに長くならないので書きませんが、店長達にはよく話している事です。もし内容が気になる方は店長に聞いてみてください。そして、各お店で新入社員を迎える皆さん、協力して、希望に溢れて入社してきた若者達に、しっかりと訓練を施してください。研修が終わり、店に入ったら、その先は先輩方の働き方が手本となります。新人が教わった事が出来てない先輩になっていないか、自分で自分をチェックしてください。折目正しく、背筋の伸びた仕事を心掛けてください。挨拶、整理整頓、清掃などの店内環境は、申し分ないですか？私達はダスキンブランドを背負っているので一般常識の綺麗さでは足りません。店舗や車は磨き上げてください。その文化が、いちいち口で説明されなくても、入店してすぐに感じてもらえるようならば本物ではないでしょうか？

研修で数日間預かるだけの店舗でも、働く心得、高、道德基準を示して下さい。どんな環境で育てられるのか、どんな社員に育つか？という事に大きな影響を与える事を意識して、店長を中心に取り組んで下さい。新店長達の働きにも期待しています。